

# 胃がん精密検査依頼書 兼 結果報告書

胃がん精密検査依頼書

年 月 日

医療機関長 様  
担当医 様

【返送先】

下記の方は、この度の胃がん検診において要精検となりましたので、御高診のうえ宜しく御指導をお願い申し上げます。

なお、お手数ながら精検結果が明らかになりましたら、本状下段の精密検査結果報告書にてご返送くださるようお願い申し上げます。

検診番号				検診医療機関名 担当医師名			
検診年月日	年 月 日						
ふりがな				男・女	生年月日	年 月 日 ( 歳)	
氏名							
住所	(〒 )				【異常所見】		
一次検診結果	胃X線	0.実施なし 1. 精検不要 2. 要精検				一次検診における、異常な所見とその部位がわかる資料を添付してください。	
	胃内視鏡	0.実施なし 1. 精検不要 2. 要精検					

## 胃がん精密検査結果報告書

貴院での精密検査の有無	a. なし → 紹介先医療機関名 [ ] 紹介年月日: 年 月 日 b. あり		
精密検査年月日	年 月 日	精検実施医療機関名 担当医師名	
精密検査内容 (実施したすべての検査に○)	1. 上部消化管内視鏡検査 2. 生検 3. 組織診断(外科的切除) 4. その他の検査: 検査法( ) ※医師コメント欄		
診断日(以下の診断区分を決定した日付)	年 月 日		
診断区分	i. 異常なし	1. 異常なし	
	ii. 胃部の癌腫 <small>転移性の腫瘍であることが明らかでない場合は ii に分類</small>	2. 粘膜内がん(T1a: 癌が粘膜にとどまるもの) 3. 粘膜下層がん(T1b: 癌の浸潤が粘膜下組織にとどまるもの) 4. 進行がん(T2以上: 癌の浸潤が粘膜下組織またはそれを越えているもの)	
	iii. 胃の転移性腫瘍	5. 胃部以外の腫瘍からの胃部への転移 (原発臓器: ) <small>転移性の腫瘍であることが明らかでない場合は ii に分類</small>	
	iv. 胃部の癌腫以外の腫瘍等	6. 悪性の腫瘍( ) <small>胃部に発生したカルチノイド、リンパ腫等は iv. 6 に分類</small> 7. 良性の腫瘍( ) 8. その他 ( ) <small>大腸に発生したGIST等は、iv. 8 に分類</small>	
	v. がんの疑いまたは未確定	9. がんの疑いまたは未確定 <small>精密検査受診者のうち、検査結果が胃がんの疑いのある者、精密検査が継続中で検査結果が確定していない者は v. 9 に分類</small>	
	vi. i ~ v 以外の異常 <small>i ~ v のいずれにもあてはまらない場合のみ記載</small>	10. i ~ v 以外で良性病変( ) <small>胃に発生した良性上皮性腫瘍(腺腫)、ポリープ、潰瘍、胃炎などは vi. 10 に分類</small> 11. i ~ v 以外で胃部以外の悪性腫瘍( ) <small>精密検査にて胃部には病変がない悪性腫瘍は vi. 11 に分類(例: 十二指腸がん、食道がん、肝臓がん)</small> 12. i ~ v 以外でその他( )	
	備考	一次検診の所見以外から見つかった病変等があれば記入してください	
その後の処置 <small>他院紹介は 4.その他を選択し 医療機関名を記載</small>	1. なし: 次回の胃がん検診へ戻す 2. 定期的に経過観察 ( カ月後予定) 3. 治療済み ( 年 月 日) 4. その他( )		
精検に伴う偶発症の有無 (入院加療を伴うもの)	a. なし b. あり → 内容 ( 穿孔 ・ 出血 ・ その他( ) ) 予後 ( 生存 ・ 死亡 )		
記載年月日	年 月 日		